

成恵

# HOSPITAL SPOT

チャリティー演奏会開催

2023 秋 第95号



埼玉成恵会病院

# 『成恵会音楽部チャリティー演奏会』

## を4年ぶりに開催

2023年7月2日(日) 開催

埼玉成恵会病院では、2014年よりチャリティーイベントを開催し、チャリティー活動を行っております。

今年4年ぶりとなりましたが、国境を越えて繋ぐ夢「希望・笑顔…そして命」この思いを伝えたい！と題し、チャリティー演奏会を行いました。多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。皆様よりお寄せいただいた寄付金の一部はミャンマーの医療と生活環境を整えるため、「NPO法人ミヤ

ンマーファミリー・クリニックと菜園の会(代表:名知仁子医師)へ寄付させていただきます。道支援団体にも継続的に支援をさせていただきます。

また、当日はプレイオペラ合唱団、プレイオペラ鳩山によるフィガロの結婚(二部)等、イタリアのオペラを中心に披露していただき、盛況のうちに終焉となりました。このチャリティー演奏会については、次回(2024年冬号)において詳しくお伝えする予定です。

### 成恵会チャリティー活動について

当院長谷川理事長と名知医師とは同郷であり、日ごろの話の中から「世界には日本のような医療を提供できない場所がたくさんある」ことを身近に感じ、自分ができることは何か?を考えるようになったことが、チャリティー活動を始めるきっかけとなりました。

また個人的な活動を通じ、自分分には直接現地で手伝うことは

名知仁子医師



きなくても、少しでも役に立てることがあれば、と思うようになりました。

チャリティー活動を通じて周りの方の反応にふれ、どこかで支援をしたい、と思っている人は自分以外にもいるかもしれないの思いで支援の輪を大きくしていきたいという気持ちになりました。

今後も支援してくださる皆様にチャリティー演奏会等の企画を行い、ご協力をお願いしております。

～第7回成恵会音楽部チャリティー演奏会～  
**国境を越えて繋ぐ夢「希望・笑顔…そして命」**  
 この思い 伝えたい!

NPPO法人 ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会  
 医師 名知 仁子氏講演  
**3年間の夢さかの時代を超えて**  
**次のステージを共に歩む**  
 ～ 次回の目標の精神で ～  
 ミャンマーで医療・薬品活動を行っている名知 仁子先生の現在の取り組みについて講演いただきます。

**成恵会音楽部演奏**  
 WA モーザイク「アイネクライネナハトムジーク 第3楽章」ほか

**オペラコンサート**  
 モーザイク「フィガロの結婚、おひげ、おひげ、おひげ」  
 シュベール「フィガロの結婚」  
 成恵会チャリティー合唱団  
 (プレイオペラ鳩山、プレイオペラ) ほか

2023年7月2日(日) 13:00開場 13:30開演  
 (開演:13:45-14:45 演奏:15:00-16:30)  
 埼玉成恵会病院多目的ホール

入場券事前販売  
 入場券お問合せ(成恵会チャリティー事務局:長谷川、本山、大木田、前田)  
 電話:0495-22-1221 E-mail: cheri@ybsk.or.jp

※チャリティー演奏会へのご協力をお願いしております。  
 お預かりするお振込先(振込)にさせていただきます。

交通アクセス  
 電車の場合 東武東上線 森林公園駅南口から徒歩約7分  
 自動車の場合 国道自動車道 東松山インターチェンジから約3分



# 埼玉成恵会病院 リウマチ講習会

第1回



当院院長と三村先生

特別講演 第1回埼玉成恵会病院リウマチ講習会  
「関節リウマチ治療の問題点と最適化」  
特別講演 関節リウマチ治療の問題点と最適化 三村俊英 先生

令和4年9月30日、埼玉成恵会病院リハビリ棟多目的ホールにて17時30分より職員限定のリウマチ講習会が開催されました。当日は病院部門より看護部、検査科、訪問看護ステーションのスタッフから発表と報告がありました。

特別講演として、埼玉医科大学病院リウマチ膠原病科の教授・診療部長である三村俊英先生より「**関節リウマチの問題点と最適化**」という内容のご講演をいただきました。当院においてリウマチの治療に来院される患者さんがいますが、少しでもこの講演がスタッフの教育になり、日頃の診療に役立ててもらえれば嬉しく思います。

現在、リウマチ・膠原病の診察は当院でも行っておりますが、大変混雑している状況にあります。診察ご希望の方はお電話にてお問い合わせいただきますようお願いいたします。

## 院内講習会および講演会開催

令和4年11月12日に埼玉成恵会病院リハビリ棟多目的ホールにて18時より「手の痺れと疼痛」講演会が開催されました。

当院では整形外科とは別に「手」の疾患に対して積極的に対応しております。「手」に対して知識を深めるために行われた講演会ですが、基調講演として埼玉手外科研究所の顧問で太田総合病院手外科センター・センター長であります金潤壽先生より「**肘部管症候群に対する手術療法**」という題にてご講演をいただきました。

また、虎の門病院 整形外科部長であります喜多島出先生より「**手根管症候群の診断と治療及び透析患者における神経障害について**」特別講演をいただきました。どちらも手の痺れと疼痛に大きくかわってくる病です。

「手」は、手に原因がある場合もちろんありますが、脊髄から手までの神経症状であることも多くあります。専門医やその症状を診る症例数の多い医療機関の受診をお勧めします。

当院では、金先生、喜多島先生の診察も行っております。診察日等の詳細は、学会等での変更もありますので、お電話にてお問い合わせいただきますようお願いいたします。



左より金先生、長谷川院長、喜多島先生

## 埼玉手外科セミナー「手の痺れと疼痛」講演会

## こんなお困りの症状はありませんか？

内科(呼吸器内科)編

アキさん(46歳)のケース

### 「かぜ症状のあと、夜間に発熱して呼吸も苦しくなった」

**症状** 咳、鼻水、発熱、呼吸の苦しさ



今回の担当医  
中野康弘医師

経理の仕事をしているアキさん(仮名)。1週間ほど前から咳や鼻水がありましたが、ある夜に熱が上がったり呼吸も苦しくなってきたので、翌日、自宅近くの医療機関へ受診しました。

新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの抗原検査は陰性で、1週間分の薬を処方されました。内服している間は症状が軽快して、仕事も順調にこなせるまでに回復していました。そのまま治るだろうと思っていたところ、内服薬を飲み切った翌日の夜、急に38度台の発熱とドキドキとした動悸が始めました。

近医は診療時間外だったので、自宅近くで夜間対応できる医療機関を探しましたが、休診だったり、対応できないと断られたりしてしまいました。



#### ① 夜間に呼吸が苦しくなったけれど、近医は診療時間外

咳、鼻水が出て約1週間後に、発熱と呼吸苦が出現

近医処方の内服薬服用期間中は、症状が軽快

内服薬終了後の夜間に、発熱と動悸が出現

#### ② 夜間対応できる医療機関を優先して、埼玉成恵会病院へ

埼玉県の救急電話相談(#7119)へ電話

当院の当直医は内科ではなかったため、他院をあたる

家族の勧めもあり、夜間対応のできる当院を受診

「埼玉県の救急電話相談(#7119)へ相談をしたところ、埼玉成恵会病院(当院)や、その他数軒の医療機関を紹介されました。まず当院へ電話をすると、「専門外の医師による応急対応なら診察可能」とのこと。

アキさんは「もともと自宅近くの内科にかかっているのだから、内科の先生の診察を受けなければならぬ」と考え、他の医療機関を探すことにしました。しかし、他でも、夜間で医師が不在、検査ができないなどの理由で受診できません。

何軒も電話をしていくうちに、だんだん心配が募り、呼吸も苦しくなってきました。救急車の要請も考えましたが、家族の意見もあり「専門外でも夜間対応をする病院」へ行くことに決め、当院へ向かいました。

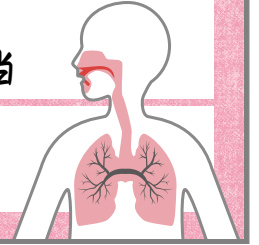


### ③ 入院後も、咳が出始めるとなかなか止まらない

当直医が速やかに検査と診察を行い、重症肺炎と診断

入院後は、呼吸器内科医が担当

症状は長引きながらも徐々に軽快



当院の夜間当直医は、専門外ながらも総合内科専門医資格を取得しており、すぐに診察が行われました。発熱は落ち着いて36度台。採血、レントゲン、CT検査などの検査を行った結果、「重症肺炎」と診断しました。アキさんは体が衰弱しており、自宅環境では安静が難しいため、即日入院となりました。入院に際して、感染症のPCR検査や肺炎の原因を調べる痰の検査なども行いました。当直医から引き継ぎ、呼吸器内科の中野康弘医師が担当となりましたが、倦怠感や微熱、痰の増加や咳などは入院後も続きました。咳は出始めるとしばらく止まりません。アキさんは肺炎で入院していた既往歴があるため、こうした症状が続くと考えられました。幸い食欲はあり、徐々に症状はよくなってきました。

### ④ 症状はよくなったけれど、退院したら振り返さないか心配

常在菌の感染が重症肺炎の原因と判明

治療法を絞れるようになったことで、症状は緩和

退院調整に入るが、当人は振り返しへの不安



入院しておよそ4〜5日後、痰の培養検査の結果が出て、重症肺炎の原因はαストレプトコッカスという常在菌と判明しました。常在菌系の感染であったことは、呼吸苦の症状が「体調が悪くなった時や免疫が落ちた時に発症する」という、アキさんのエピソードともびつたり一致していました。入院から細菌の判明まで、中野医師は様々な原因の可能性を考えて治療を行ってきましたが、ここからは本格的な細菌性肺炎の治療に切り替えました。原因がはっきりしたことで治療成績も上がり、症状はどんどん軽快。咳が少なくなり平熱を安定的に保てるようになると、退院日の調整です。ただ、アキさんは「退院は嬉しいけれど、振り返しが怖い」といいます。

### ⑤ 今度調子が悪くなったら、すぐに受診します

咳、痰、喘鳴<sup>ぜんめい</sup>が取れ、就寝が楽になって退院

外来診療で炎症反応なく、治療終了、職場に復帰

体調管理には十分な留意が必要

中野医師は、検査結果の推移やアキさんの様子の変化をよく観察した上で、「咳・痰・喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音)がなくなった、もしくは少なくなった、かつ「薬に就寝ができるようになった」というタイミングで退院するのがよいと判断しました。退院に向けての治療と薬の調整が行われ、それから2日後には退院することができました。退院して1週間後に当院を外来受診したところ、検査での炎症反応は陰性で治療は終了となり、職場への復帰も決まりました。ただし、肺には肺炎像が残っているので、振り返しに注意しながら生活すること、調子が悪くなった時には早めに内科受診することを、医師からアキさんにお願いしました。



疾患の中には、体調が良い時には症状が出なくても、体調が悪くなるとともに症状も強くなる場合があります。予防のためには、無理をせず、体調不良の状態にならない生活を心がけていただくのが一番です。

今回取り上げたアキさんのような症状やそれに近いケースの方がいらっしゃいましたら、体調が少しでも悪くなりましたら、すぐに受診いただけますようお願いいたします。

注) このケースは、当院を受診される患者さんによくみられる一例をご紹介します。一部フィクションではありますが、ご参考になれば幸いです。

## 埼玉成恵会病院 健康管理センターのご紹介

診断や治療の精度と技術が発展を遂げている時代だからこそ、“早期発見と早期治療”が非常に大切です。そのためにも定期的健康診断、“人間ドック”は必要不可欠になっています。当院ではニーズにあわせた健診プランのご提供をいたします。

### ■ 人間ドックメニュー

- 日帰りドック
- 一泊ドック
- 脳ドック

### ■ オプションメニュー 予約制

- 胃管内視鏡検査
- 脳ドック／頭部CT／頭部MRI・MRA
- 胸部CT検査／腹部CT検査
- 頸動脈超音波検査
- 婦人科項目
- 各種腫瘍マーカー検査(当日申し込み)
- ロックス・インデックス(LI)
- アミノインデックスがんリスク(AICS)

### ■ お申し込み方法 完全予約制

電話または健診センター窓口にて  
予約の申し込み

希望コースの  
選択

検査予約日の  
決定

※後日、ご案内を郵送いたします。 ※ご都合によりキャンセルまたは変更される場合は、お早めにご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ先

医療法人埼玉成恵会病院  
健康管理センター

TEL: 0493-23-0277 (8時30分～17時)

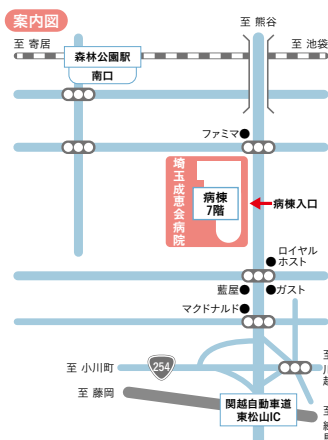
## 院内感染症対策について

新型コロナウイルス感染症は感染分類が5類に移行され3年前の生活に戻す取り組みが多方面で行われております。当院では感染対策を継続しマスク着用、手指消毒、検温をお願いいたします。

また、病棟への面会に関しましても、感染症対策として禁止の措置を継続させていただきます。

今後、緩和等を段階的に行っていく予定です。

最新の情報はホームページなどでお知らせいたしますので、よろしくをお願いいたします。



**交通** **電車** 東武東上線 「森林公園駅」下車徒歩6～7分  
※池袋駅から森林公園駅まで約1時間

**自動車** 関越自動車道 東松山インターより3分

〒355-0072 埼玉県東松山市石橋1721

TEL: 0493-23-1221

ホームページ: seikei.or.jp



成恵会

検索